

このマニュアルは PowerPoint Microsoft 365 バージョン 2004 で書かれています

<p>1</p>		<p>好きな画像を挿入 or 貼り付け。 テキストボックスを挿入し、タイトルを入れます。</p> <p>画像を拡大して、移動させるため、タイトルは小さめに入れましょう。</p>
<p>2</p>		<p>「Ctrl」 + 「A」 キーで、全て選択。 「Ctrl」 + 「X」 キーで、切り取り。 「貼り付け」 → 「図」。 画像とテキストボックスが一つの画像になります。</p>
<p>3</p>		<p>画面左のスライドのサムネイルと編集画面の区切りを右に広げて、サムネイルを見やすくします。 サムネイルを見ながら、画像を拡大し、タイトルが真ん中にくるようにします。</p> <p>「Ctrl」 を押しながら、マウスホイールを回転させ、画面を縮小すると作業がしやすいです。</p>
<p>4</p>		<p>「挿入」 → 「図形」 → 「楕円」。</p>
<p>5</p>		<p>「Shift」 キーを押しながら、タイトルより一回り大きい正円を描きます。</p>

6		<p>「図形の塗りつぶし」→「塗りつぶしなし」。  「図形の枠線」→「白」。  画像の関係で白だと見づらい場合は、黒やグレーにしてください。</p>
7		<p>「配置」→「左右中央揃え」。  「配置」→「上下中央揃え」。</p>
8		<p>「Ctrl」＋「D」キーで、複製。  「図形の編集」→「図形の変更」→  「四角形：角を丸くする」。</p>
9		<p>タイトルが入るようにサイズを調整。</p>
10		<p>角丸四角形に隙間を作ります。  「Ctrl」＋「D」キーで、複製。  ←のように、複製した図形を移動させ、「Shift」キーを押しながら、元の図形も選択。</p>
11		<p>「図形の結合」→「重なり抽出」。</p>
12		<p>図形を右クリックし、「頂点の編集」。</p>

13		<p>←赤丸で囲んだ位置の頂点を右クリックし、「パスを開く」。</p>
14		<p>←赤丸で囲んだ頂点をそれぞれ右クリックし、「頂点の削除」。</p>
15		<p>「Ctrl」 + 「D」 キーで、複製。 「回転」 → 「左右反転」。</p>
16		<p>←のように並べます。</p> <p>「Shift」 キーを押しながら、元の図形も選択。 「Ctrl」 + 「G」 キーで、グループ化。 「Ctrl」 + 「D」 キーで、複製。</p>
17		<p>「回転」 → 「上下反転」。</p>
18		<p>←のように並べます。</p> <p>「Shift」 キーを押しながら、元の図形も選択。 「Ctrl」 + 「G」 キーで、グループ化。</p>

19		<p>「配置」→「左右中央揃え」。 「配置」→「上下中央揃え」。</p>
20		<p>画像を選択し、 タイトルが中央に来るように微調整。</p>
21		<p>スライドのサムネイルをクリックし、 「Ctrl」+「D」キーで、複製。</p>
22		<p>1枚目のスライドのサムネイルをクリック。</p>
23		<p>画像をダブルクリックし、 「アート効果」→「ぼかし」。</p>
24		<p>再度、「アート効果」→「アート効果のオプション」。</p>

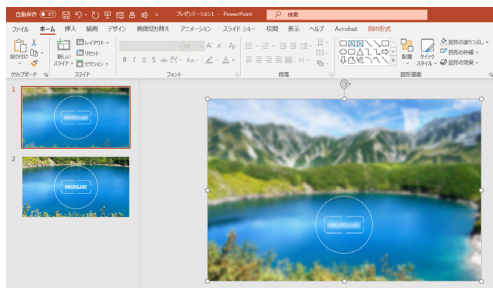


25



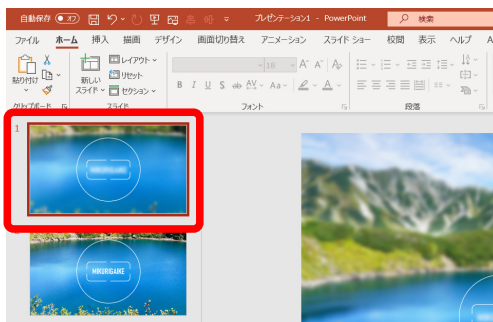
画面右に「図の書式設定」ウィンドウが開くので、「アート効果」の「ぼかし」の「半径」を適当に調整。

26



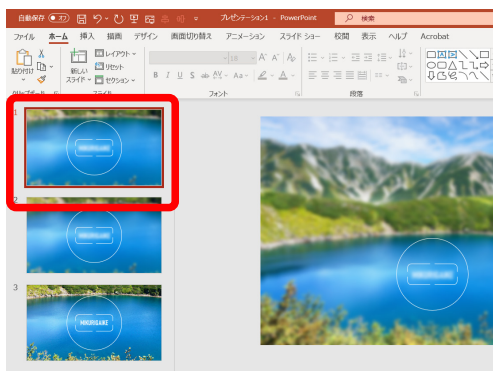
画像を少し拡大。  
タイトルが、中央に来るように調整。

27



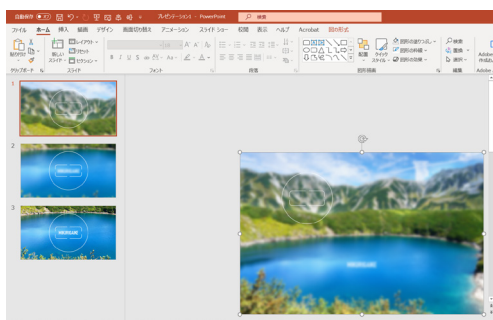
1枚目のスライドのサムネイルをクリックし、「Ctrl」+「D」キーで、複製。

28



1枚目のスライドのサムネイルをクリック。

29



サムネイルを見ながら、画像を好きな方向に移動させ、スタートの位置を決める。

30		<p>2枚目のスライドのサムネイルをクリック。 「Shift」キーを押しながら、 3枚目のスライドのサムネイルをクリック。</p>
31		<p>「画面切り替え」→「変形」。</p>
32		<p>3枚目のスライドのサムネイルをクリック。</p>
33		<p>「期間」を「00.50」。</p>
34		<p>「F5」キーで、スライドショーを観てみましょう。 クリックすると、画面が動き、さらにクリックすると、ピントが合います。</p> <p>画面が動く速度が早かったり遅かったりする場合は、手順33と同じように、 2枚目のスライドを選択し、数値を変えましょう。</p>